

「東海能代精工」にて再生可能エネルギーの地産地消を実現！
～「あきたEネ! オプション水力100%」による供給を開始～

東海能代精工株式会社(代表取締役社長:増田浩文、以下「東海能代精工」)は、秋田県(知事:佐竹 敬久)および東北電力株式会社(取締役社長 社長執行役員:樋口 康二郎、以下「東北電力」)が共同で提供する「あきたEネ! オプション水力100%」への加入を通じて、2022年4月11日より、地元秋田のCO2を排出しない電気の使用を開始いたしました。これに伴い、4月15日、秋田県と東北電力から東海能代精工へ認証書を交付いたしました。



左から東北電力株式会社・松田所長、秋田県産業労働部・小林課長、弊社社長・増田

「あきたEネ! オプション水力100%」は、秋田県内においてCO2排出量削減に取り組む企業等に向けて、CO2を排出しない県営水力発電所の電気を供給することで、再生可能エネルギーの地産地消に繋げる取り組みです。

東海能代精工は、東海カーボングループの一員として、グループ内でも希少な鉄鋼材料加工分野を担い、創業以来培ってきた熟練の技を軸に、高精度な製品づくりを行なっています。また、「私達は社会の発展、健康増進、教育の改善に寄与する活動に参画すると同時に有益な社会事業、福祉に貢献し環境と資源の保護に努め社会に貢献しなければならない」という行動指針を掲げ、SDGsに深く通じる事業活動を行なっております。

このような行動指針のもと、東海能代精工は、2030年度CO2排出量25%削減、2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、資源・エネルギーの効率的利用を促進しております。

この度、電気の使用に伴うCO2排出量がゼロであることや、地元秋田で発電された電気を使用できるという点が社会貢献に繋がると考え、秋田県と東北電力が連携して提供している「あきたEネ! オプション水力100%」を導入いたしました。

今後は、毎年導入割合を増やし2030年には使用電力量の全量を再エネ由来の電気へ切り替えることを目標とし、更なるCO2排出削減に取り組むとともに、これからもSDGsへの取り組みを進め、持続可能な社会の実現に貢献しながら事業活動を推進してまいります。



秋田県および東北電力は、「あきたEネ! オプション水力100%」の提供を通じて、秋田県内で事業を営む企業等に対し、再生可能エネルギーの電気を供給することにより、企業価値の向上等による県内企業等の発展に貢献できればと考えております。